

— 岩手県立博物館テーマ展『比爪-もう一つの平泉-』パンフレットより —

まとめ 比爪と平泉の関係(三)

また、比爪の発掘調査は平泉に比較すると進展しておらず、比爪が平泉に比較して遺物の量や、遺跡の規模が劣るように感じられるのは、調査面積の差に起因する面が大きいのです。

そして、平泉において奥州藤原氏の文化を現在まで継承できたのは、「中尊寺」「毛越寺」の平泉現地での継続が、大きな支柱であったと評価できます。この両寺院が核になり、器物、芸能、思想が地域に根付いて継承されていたのです。

《《《 8～9月行事予定のお知らせ 》》》

<p>8月20日 (水曜日)</p>	<p>第54回月例懇話会</p>	<p>午後7時から午後9時まで 赤石公民館 発表者：堀切奎三 テーマ：樋爪館と金山について 発表者：小笠原悦子・岡村日出子 テーマ：講談「宮手鹿踊」</p>
<p>9月2～3日 (火・水曜日)</p>	<p>羽柴直人先生と行く 『比爪-もう一つの平泉-』 を追って現地で学ぶ旅</p> <p>共催 紫波町観光交流協会 紫波町平泉関連史跡 連携協議会 紫波町郷土史同好会 紫波町観光案内人 しゃ・べる</p>	<p>2日：午前9時 赤石公民館出発(盛岡IC乗車可) 青森県七戸町(七戸資料館・コンニャモリ経塚・国 指定史跡七戸城・ニツ森貝塚) 東八甲田温泉 午後6時到着・宿泊 3日：午前8時出発 青森市内(外ヶ浜[展望]) 青森県浪岡町(浪岡城・中世の館) 秋田県大館市(矢立廃寺跡・錦神社・大館郷土博物 館) 赤石公民館 午後6時半頃 帰着予定 参加料：20,000円位(最少催行30人) 参加申込期限：8月22日(金) 氏名、年齢、性別、住所・郵便番号、電話番号等 を記入しFAXで紫波町観光交流協会へ申込み。 FAX番号 019-676-4422 電話番号 019-676-4477 ※ 先着順に定員になり次第、〆切となります。</p>
<p>9月17日 (水曜日)</p>	<p>第55回月例懇話会</p>	<p>午後7時から午後9時まで 赤石公民館 発表者：平井和夫 テーマ：藤原清衡考Ⅲ・泰衡の首Ⅱ 発表者：佐藤雄一 テーマ：赤石小学校郷土学習について</p>

◎ 古代蓮の花が咲き誇っています!

五郎沼一周比爪館遺跡めぐり

7月26日(土)午前10時 古代蓮の池集合

経塚跡・夜泣き石・箱清水石卒都婆群
大荘厳寺跡擬定地・薬師神社等

※ 午後2時から五郎沼・古代蓮まつり実行
委員会主催の諸行事も行われます。

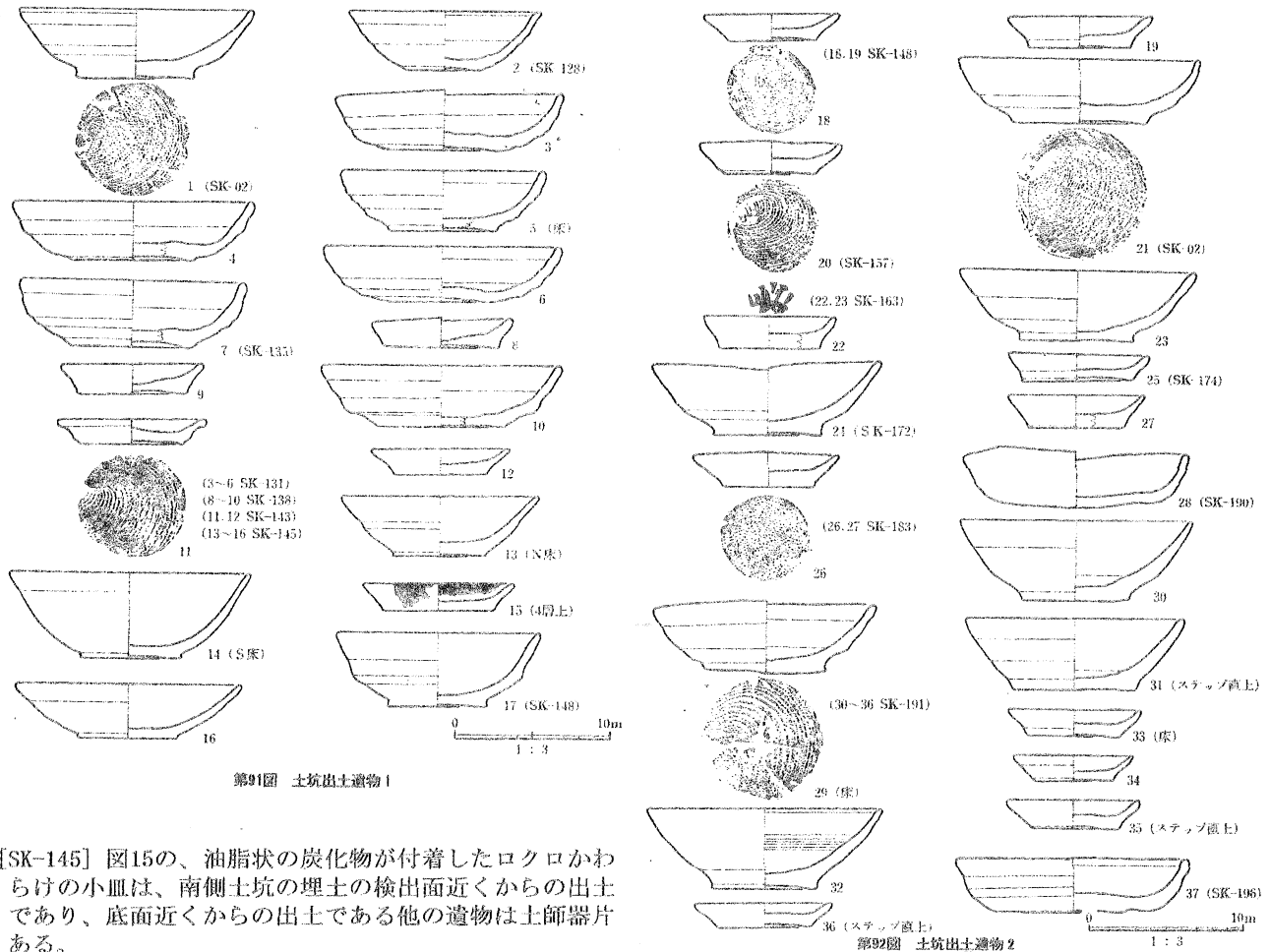


【第9・10次発掘調査(4)】 紫波町文化財調査報告書第24集 比爪館 第9・10次発掘調査報告書<紫波町教育委員会(平成4年3月30日発行)>から

第36号で竪穴住居跡から出土した遺物の実測図を紹介しました。今回は土坑から出土した遺物の一部を紹介します。

2 土坑

調査区北側を中心として62基検出・調査した。遺構のナンバーは検出の際のまま使用しており、調査の結果土坑とはならず欠番になったものや、一つのナンバーに二基重複してしまったものなどもあるが、そのまま記載している。(113頁)



第12回定期講演会が盛況裡に終了!!

6月22日(日)に赤石公民館で第12回定期講演会が開催されました。講師の奥州市教育委員会文化財専門員石崎高臣氏から「鎮守府と平泉の間を埋めるものー陸奥北部の10・11世紀を考えるー」の演題で講演をいただき、最後は予定時刻を超える充実した質疑応答もありました。

